

園長の鶴山先生から、「ただの保育園をしたいのではなく、社会福祉法人フィロスの理念の実践を保育園で実現していきたいのです。だからこそ、理念の浸透に想いを掛け来ました。」と、いうお言葉と一緒に、「私たちは一方的に学ぶのではなく、社会的に学ぶべきだ」というお言葉と一緒に、私たちは社会的視点で学ぶべきだ



関わる人が皆、育ち合える幸せを感じました。

たお籠様が飾られており
3年間の研修のスタートをお祝いごとのおめでたい雰囲気の中ではじめさせて頂くことができました。保育士の皆さまのみならず、給食の皆さまをはじめ、全体で研修を受けて頂き、その姿勢には全員が「保育者」であるという思いが現れていると感じさせて頂きました。

愛知県名古屋市にある、ゆめの樹保育園様へお伺いさせて頂きました。

お蔭さま

く、自分達からもカグヤさんに学んでもらえるような関係を築いていきたい。」という有難いお言葉を頂きました。これこそが「子どもを中心にお互いが成長し合う関係」であり、世界各国ではスタンダードである「产学連携」の理想的な姿ではないかと感じさせて頂きました。

もしかすると、日本では「お蔭さま」という言葉になるのかもしれません。この「お蔭さま」と思い合える関係と思いやりを私たち クルーも大切にしていきた いと思います。

紙も同封下さり、園の樂しい雰囲気も一緒に味わせて頂きました。また、その紙には「ゆいまーる黒糖」(※「ゆいまーる」は、沖縄の方言で「助け合い・お互いさま・結びつき」の意味)と書かれており、出来あがった黒糖は、他園や、地元の老人



ゆいまーる黒糖を頂きました！

先日、沖縄県名護市にある、やまびこ保育園様・やまびこ久辺保育園様から社内に小包が届きました。開けてみると、中には黒糖とその材料となるサトウキビが入っていました。毎年地域の黒糖名人にお願いして、子ども達が黒糖づくりを体験されているということで、大変ありがたいことに、カグヤにおすそ分けして下さいました。

弊社でも頂いた黒糖を
お客様のところへ訪問す
るそうで、まさに「ゆい
ーる」を大事にしている
とが、実践から伝わって
ます。

ゆいまーる

理念と実践で 絆を結びます

発達を伝える実践

板木県にある、にのみ幼稚園様へ訪問させて頂きました。

園では今年度から保護に子どもたちの発達を伝ていこうと、発達を視覚した資料をファイリングお渡しする取り組みがはじめられ、これまでの実践積み重ねの上に一步踏みんだ形で先生方が実践をれていました。園長の上二先生が始められたこの取り組みは、ドイツではポーランドリオと呼ばれています以前、ギビングツリー、

卒園式シーズンのこの時期、保護者へ入園から卒園まで子どもたちの発達経過をお伝えする先生方の顔が浮かびます。日頃の実践に留まらず上野先生のように改善していく姿勢を学んでいきたいと思います。

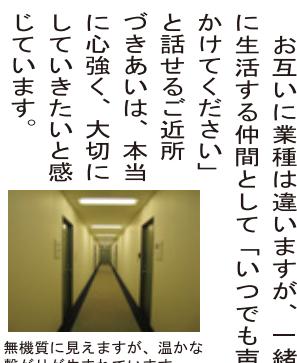
た際、視察先の施設で、0歳から6歳までの異年齢保育を行っている様子を見て、自園でも2歳から6歳までの異年齢保育をはじめられたそうです。

園長の上野先生からは、「幼稚園として見守る保育を進めていく上で、ドイツの保育形態を参考にした。保育園、幼稚園と分けて考えるのはではなく子どもにどうして何が必要かを考えていきたい。」と子どもたちの発達からどのように保育を行っていくかを試行錯誤されていました。

平素より弊社の商品を「ご愛顧頂きましてありがとうございます。」この新
聞は、「子ども第一主義」の理念を力強くアピールの日々の出来事からの内
省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたもの
です。記事の中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆亂文で恐
れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願いいたします。

CCN Caguya Company News カグヤニュース

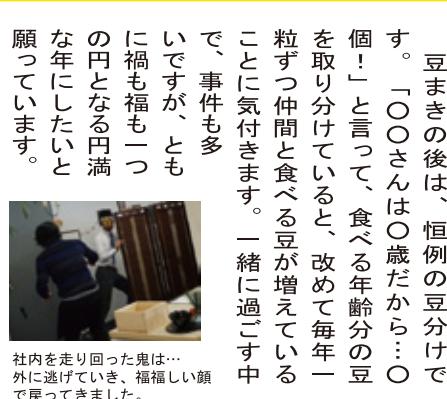
※カグヤでは、クルー同士別々の場所にいても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。



無機質に見えますが、温かな繋がりが生まれています。

「皆でケーキを食べるのですが、社員全員で記念写真を撮りたくて…。シャッターを押してもらえないのか。」ある日、玄関のドアを叩く音がして、外に出てみると、お向いの会社の方が、カメラマンを依頼され、喜んでお伺いし、撮影のお手伝いをさせて頂きました。

お互いに業種は違いますが、一緒に生活する仲間として「いつでも声かけてください」と話せるご近所づきあいは、本当に心強く、大切にしていることを伝えたいと感じています。



社内を走り回った鬼は…外に逃げていき、福福しい顔で戻ってきました。

今年も社内で節分に豆まきを行いました。鬼に向かって、「鬼は外！福はうち！」と炒った大豆を投げ、手に持ったイワシをかざして、外に追い出します。

豆まきの後は、恒例の豆分けです。「〇〇さんは〇歳だから…〇個！」と言つて、食べる年齢分の豆を取り分けていると、改めて毎年一年で、事件も多めになります。

粒ずつ仲間と食べる豆が増えていることに気付きます。一緒に過ごす中で、事件も多めになります。

「想定」は自分や人間都合で行うのではなく、「自然」の方へと主軸を置き換える



お誕生日ケーキを囲んでみんなでお祝いです。

毎月全体会議の日に、その月に誕生日を迎えるクルーのお祝いをしています。

先月も誕生日のクルーがあり、皆で特製ケーキと、クルーのポートフォリオを渡してお祝いしました。

このポートフォリオは、クルーの1年間の軌跡が分かるように、印象的だったエピソード写真を厳選して貼り、皆からのメッセージを添えた

お誕生日のお祝い

オリジナル本になっています。発達記録のような役割もあり、過去のものを見返すことも楽しみになっています。

また、制作する側も、あつという間に過ぎていく1年の中に、仲間との沢山のドラマがあつたことを思い返します。

巡り合つて、一緒に過ごすことが出来ることに感謝し、生まれてきてくれたことを一緒に喜びお祝いするお誕生日のお祝いは、かけがえない時間になっていま



ポートフォリオと共に。

「ご近所づきあい

「ご近所づきあい

一期一会庵

大切なことを忘れないDAY

大切なことを忘れないDAY

いつも季節毎に採れる新鮮な野菜たちを九州から送ってもらっています。先日は、カグヤの九州農園から、自然農の畑で育った青梗菜と桜島大根、蜜柑が届きました。

大切に育った、旬の野菜や果物を探してて送つてもらうので、美味しく身体も心も喜んでいます。自然農の畑では、数が多く採れるという



自宅にも持ち帰り、家族と一緒に頂きました。

いつも昼食のお弁当を届けて頂いている自然食のミルクランドさまに、も収穫の報告と、感謝を込めて採れたての野菜をお持ちしました。

ビル群の中にいると、季節を感じることは難しいですが、巡りを感じて一緒に味わえることは有難いことだ

皆で一緒に味わえることは有難いことだ

と感じています。

美味しさも、楽しさも倍増です。



小粒ですが、濃い香りと味がします♪

わけではないですが、今回の冬野菜は大収穫となりました。

いつも昼食のお弁当を届けて頂いている自然食のミルクランドさまに、も収穫の報告と、感謝を込めて採れたての野菜をお持ちしました。

ビル群の中にいると、季節を感じることは難しいですが、巡りを感じて一緒に味わえることは有難いことだ

と感じています。

美味しさも、楽しさも倍増です。

小粒ですが、濃い香りと味がします♪

毎月全体会議の日に、その月に誕生日を迎えるクルーのお祝いをしています。

先月も誕生日のクルーがあり、皆で特製ケーキと、クルーのポートフォリオを渡してお祝いしました。

このポートフォリオは、クルーの1年間の軌跡が分かるように、印象的だったエピソード写真を厳選して貼り、皆からのメッセージを添えた

お誕生日のお祝い

出来ることに感謝し、生まれてきてくれたことを一緒に喜びお祝いするお誕生日のお祝いは、かけがえない時間になっていま

す。

大切に育った、旬の野菜や果物を探してて送つてもらうので、美味しく身体も心も喜んでいます。自然農の畑では、数が多く採れるという

大切なことを忘れないDAY

いつも季節毎に採れる新鮮な野菜たちを九州から送ってもらっています。先日は、カグヤの九州農園から、自然農の畑で育った青梗菜と桜島大根、蜜柑が届きました。

大切に育った、旬の野菜や果物を探してて送つてもらうので、美味しく身体も心も喜んでいます。自然農の畑では、数が多く採れるという

大切なことを忘れないDAY

いつも昼食のお弁当を届けて頂いている自然食のミルクランドさまに、も収穫の報告と、感謝を込めて採れたての野菜をお持ちしました。

ビル群の中にいると、季節を感じることは難しいですが、巡りを感じて一緒に味わえることは有難いことだ

と感じています。

美味しさも、楽し

さも倍増です。

小粒ですが、濃い香りと味がします♪

わけではないですが、今回の冬野菜は大収穫となりました。

いつも昼食のお弁当を届けて頂いている自然食のミル克拉ンドさまに、も収穫の報告と、感謝を込めて採れたての野菜をお持ちしました。

ビル群の中にいると、季節を感じることは難しいですが、巡りを感じて一緒に味わえることは有難いことだ

と感じています。

美味しさも、楽し

さも倍増です。

小粒ですが、濃い香りと味がします♪

わけではないですが、今回の冬野菜は大収穫となりました。